

# 昭和村地域福祉計画・昭和村地域福祉活動計画

## 《 資 料 編 》

資料1 昭和村の現状・・・・・・・・・・P1

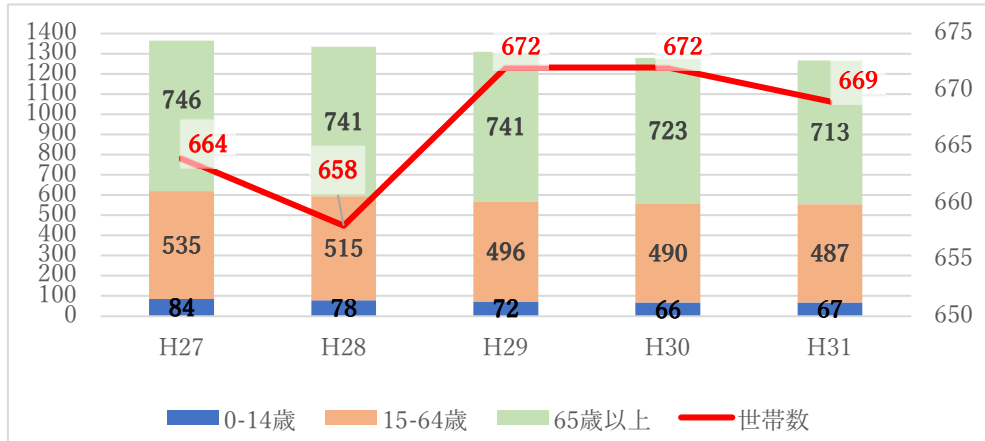
資料2 住民意識調査結果・・・・・・・・P7

資料3 昭和村人口ピラミッド・・・・・・・・P15

## 【資料 1】 昭和村の現状

### ■ 人口・年齢

階層別人口及び世帯数の推移（住民基本台帳数値） \* 各年 4 月 1 日現在

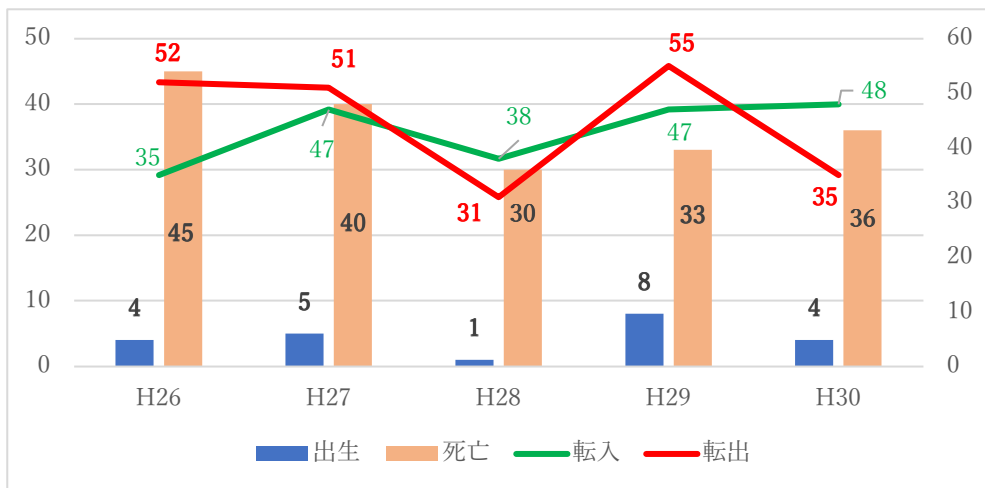


H31.4.1 現在の人口は 1,267 人で H27.4.1 現在と比較し、98 人の減となっている。

H31.4.1 現在と H27.4.1 現在を年齢階層別に比較すると 0-14 歳で 17 人の減、15-64 歳で 48 人の減、65 歳以上では 33 人の減となっている。

H28.3 策定の第 5 次昭和村振興計画後期計画において推計された 2020 年国勢調査人口は、1,056 人となっており、年齢階層別にみると 0-14 歳で 83 人、15-64 歳で 391 人、65 歳以上で 583 人と推計されている。

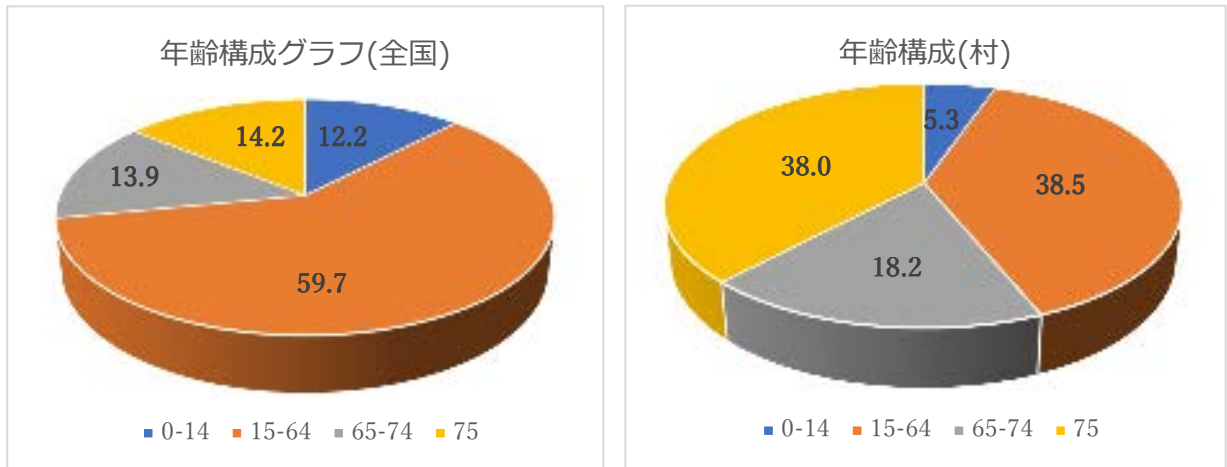
### ■ 自然動態・社会動態の推移 \* 各年 1 月 1 日～12 月 31 日の異動状況



自然動態では出生数が H29 年で 8 人となったものの、H28 年では 1 人となっている。

社会動態については、H30 年で転出より転入が上回り、社会増となっている。

## ■ 年齢階層別の割合（全国比較）

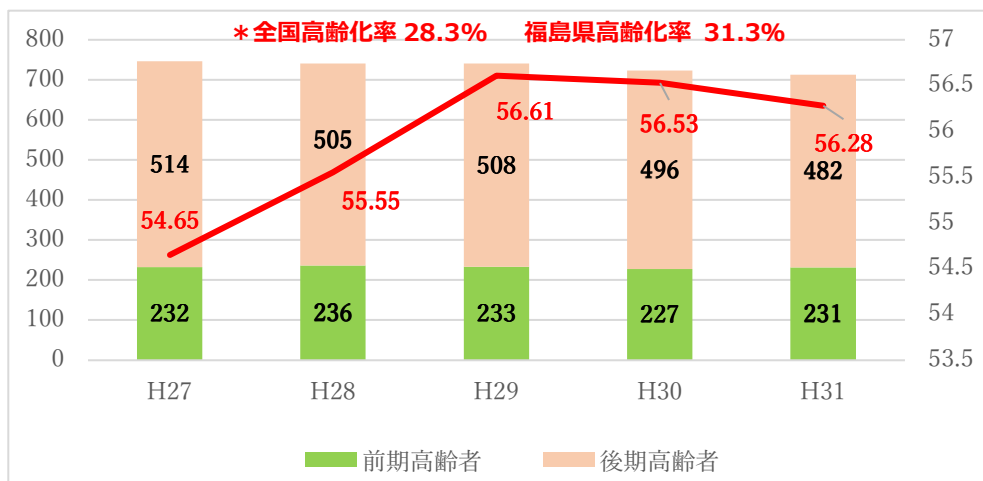


年齢階層別割合をみると、全国の生産年齢人口の割合が 59.7%に対し、村では 38.5%となっている。また、村の 65 歳以上の割合をみると 56.2%となっており、全国では 28.1%となっている。H28.3 策定の第 5 次昭和村振興計画後期計画において推計された 2020 年国勢調査年齢階層別割合をみると、0-14 歳で 7.8%、15-64 歳で 37.0%、65 歳以上 55.2%と推計されている。

注 1：全国…総務省統計局資料 平成 30 年 10 月 1 日現在

村……平成 31 年 4 月 1 日住民基本台帳数値より割合を算出

## ■ 高齢化の状況（住民基本台帳数値）\* 各年 4 月 1 日現在



注 1：全国高齢化率…平成 31 年 4 月 1 日人口推計月報数値

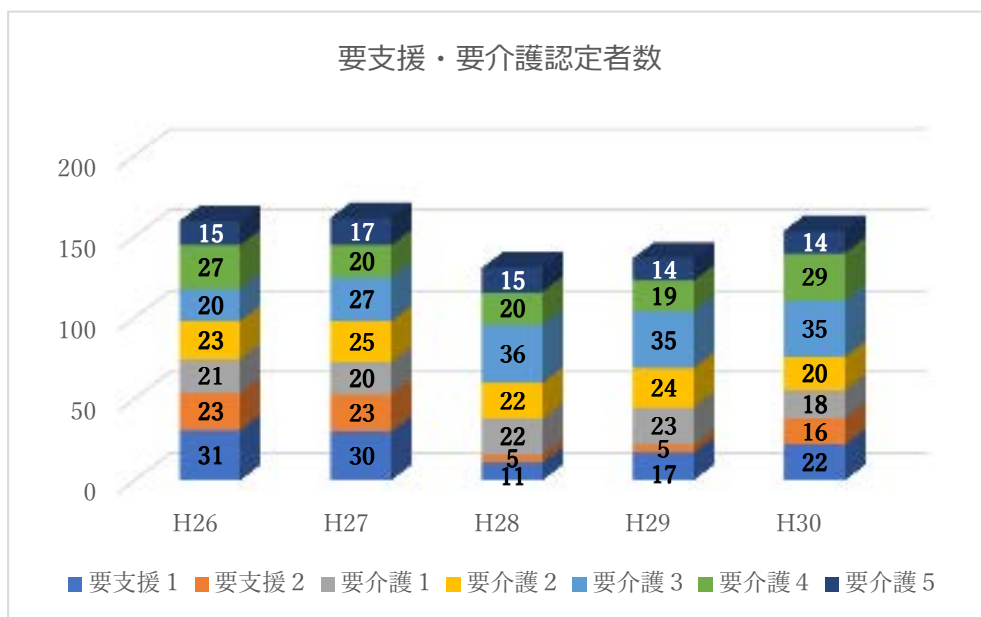
福島県高齢化率…平成 31 年 4 月 1 日福島県現住人口調査月報数値

高齢化率をみると、H29 をピークに下降傾向にある。

65 歳以上の高齢者人口も H27.4.1 現在で 746 人に対し、H31.4.1 現在では 713 人と 33 人の減となっている。

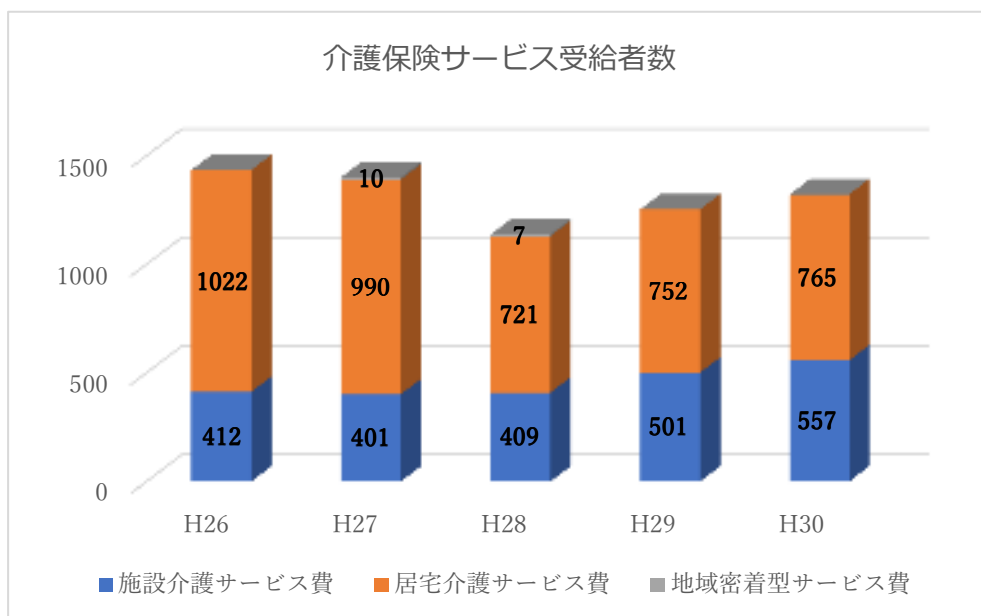
また、H28.3 策定の第 5 次昭和村振興計画後期計画において推計された 2020 年国勢調査高齢化率をみると 55.2%と推計されている。

■介護保険認定者数 (介護保険事業状況報告年報数値)



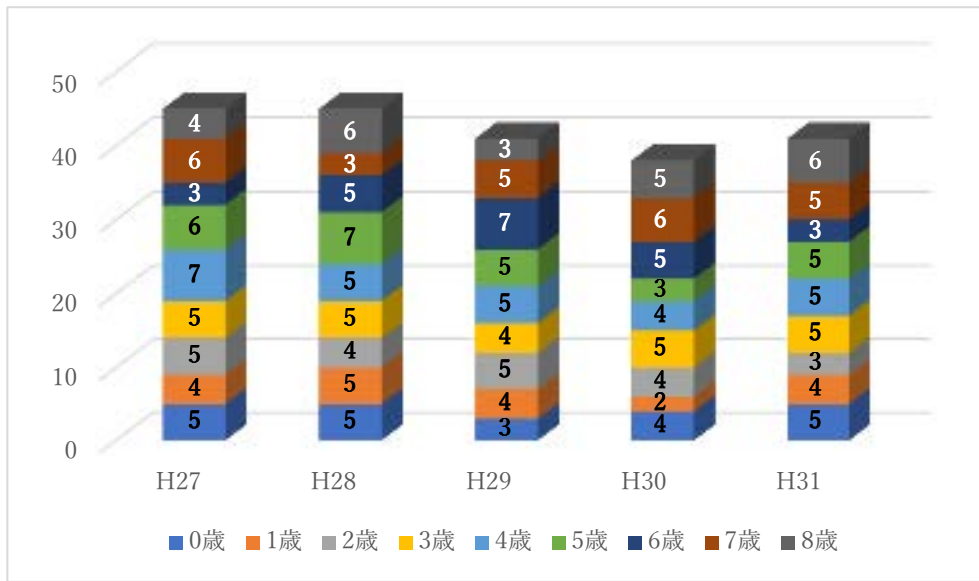
要支援・要介護認定者数については、総合事業に移行された H28 年度では要支援の認定者数は一時的に減少したものの、以降は要支援の認定者数は増加傾向に転じている。  
住宅改修や福祉用具購入等の一時的なサービス利用のために要介護認定を申請するケースも要因の一つと考える。

■介護保険サービス受給者数 (介護保険事業状況報告年報数値)



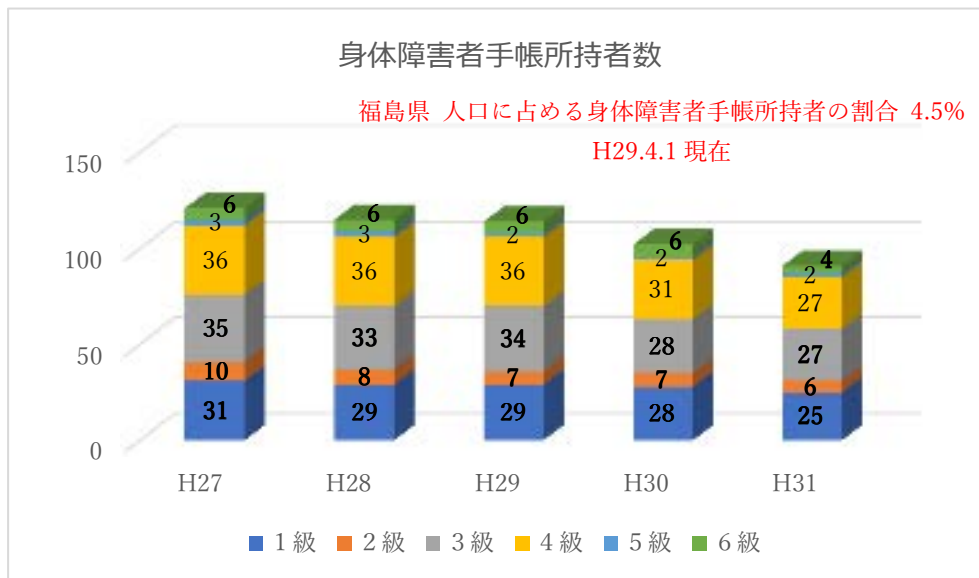
年間のサービス受給者数をみると、昭和ホームの増床と他市町村の施設入所の増加に伴い施設サービス受給件数も増加傾向にある。  
また、居宅介護サービスにおいては、過去2年間は同程度で推移している状況である。

■ 0歳～8歳人口 (住民基本台帳数値) \* 各年4月1日現在



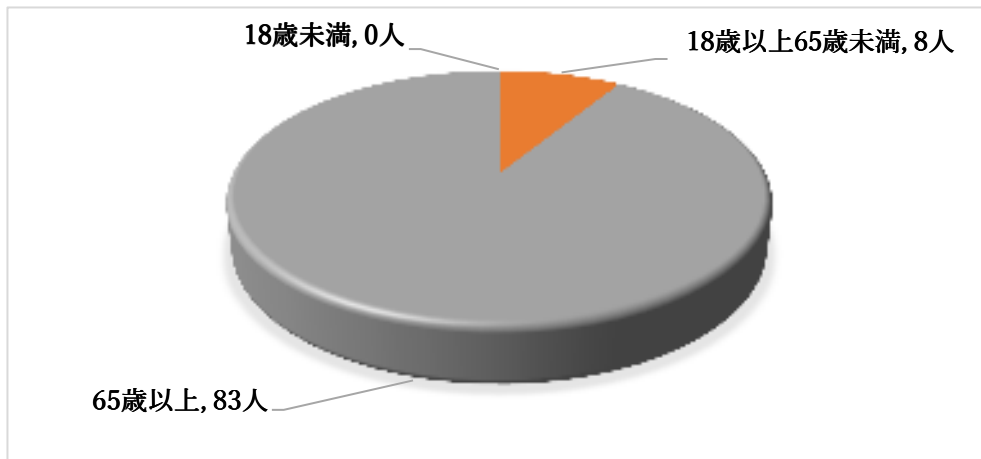
出生数は毎年3人から5人程度となっており、同程度で推移しているが、出生数自体が少ないため、出生数増加のための取り組みも喫緊の課題といえる。

■ 身体障害者手帳所持者数 (等級別) (村台帳数値) \* 各年4月1日現在



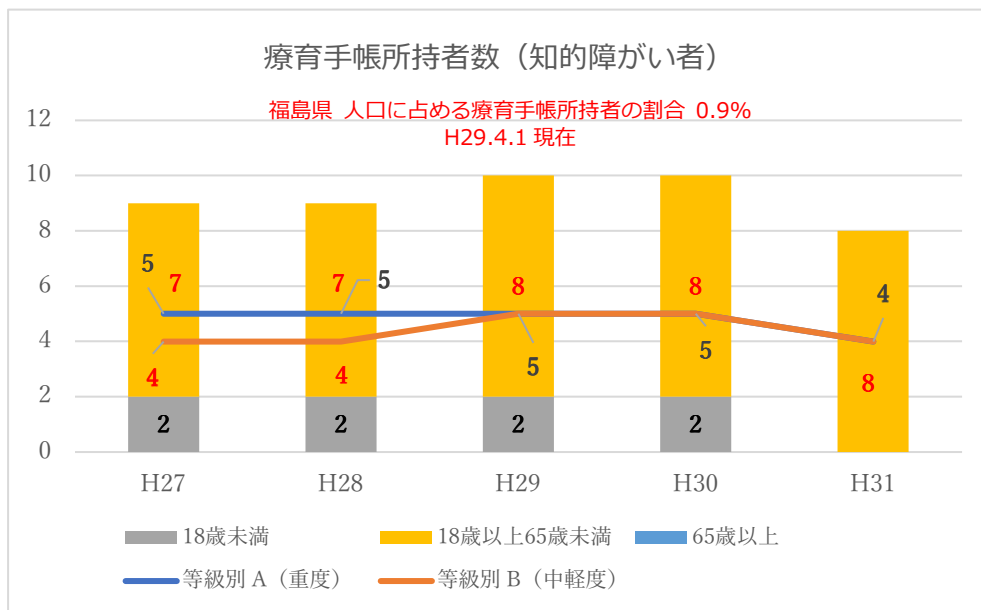
手帳所持者数はH27年度で121人、H31.4.1現在では91人となっている。  
H31.4.1現在の手帳所持者の人口に占める割合をみると7.2%となっている。  
各年度とも1級・3級・4級の割合が高い状況となっている。本村の1級手帳所持者の障がいの多くは心臓機能障害であり、その他腎臓機能障害、肝臓機能障害、視力障害となっている。3級・4級の手帳所持者については、ほとんどが膝関節機能障害や股関節機能障害となっている。

■ 身体障害者手帳所持者年齢構成 (村台帳数値) \* 各年 4 月 1 日現在



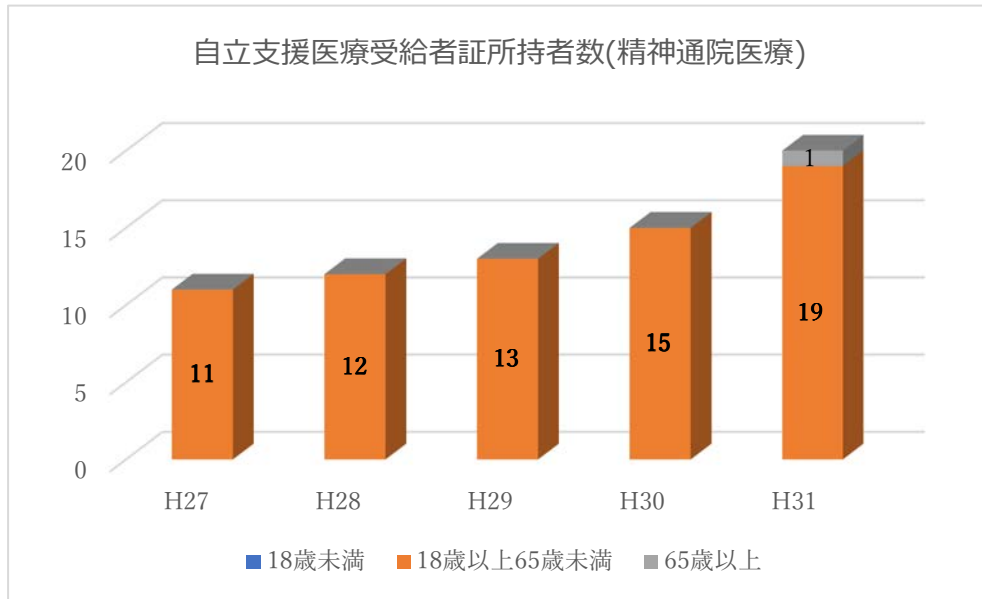
年齢構成で見ると、手帳所持者数 91 名のうち 65 歳以上が占める割合が 91.2%となっている。障害の種類からみても、多くが膝関節機能障害や股関節機能障害となっており、高齢者の割合が高い要因の一つと考えられる。

■ 療育手帳所持者数年齢構成 (村台帳数値) \* 各年 4 月 1 日現在



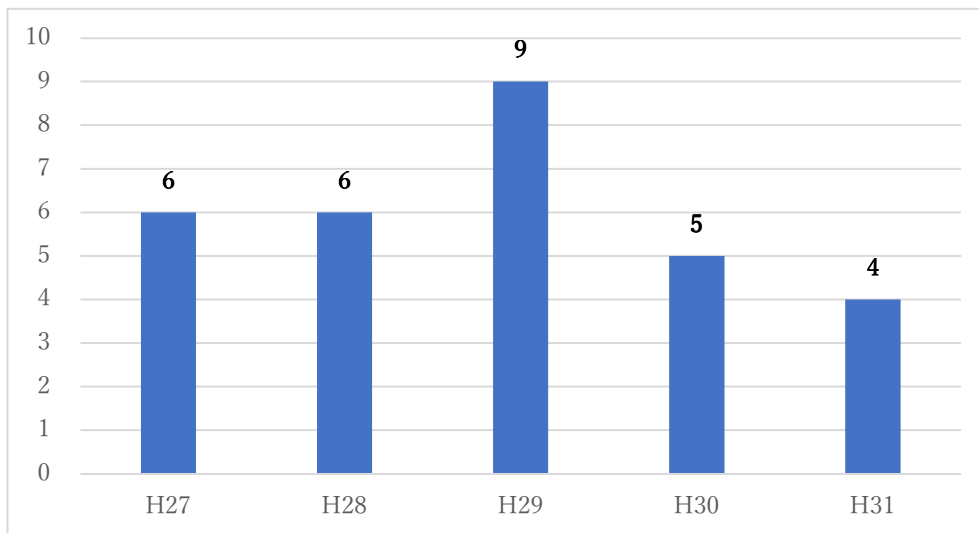
年齢構成で見ると H31.4.1 からは手帳所持者全員が 18 歳以上 65 歳未満となっている。H31.4.1 現在の手帳所持者の人口に占める割合をみると 0.63%となっており、等級別では H29 年からは半数が重度となっている。

■ 自立支援医療受給者証所持者数 (村台帳数値) \* 各年 4 月 1 日現在



受給者証の所持者数については、H30 と H31 を比較すると 5 人の増加となっている。  
年齢構成では殆どが 18 歳以上から 65 歳未満となっている。

■ 生活保護受給者数 (村台帳数値) \* 各年 4 月 1 日現在



受給者数については、H29 をピークに減少傾向にある。  
減少の要因としては、転出や死亡によるものであるが、今後、増加に転じる要因が多いのも現状である。

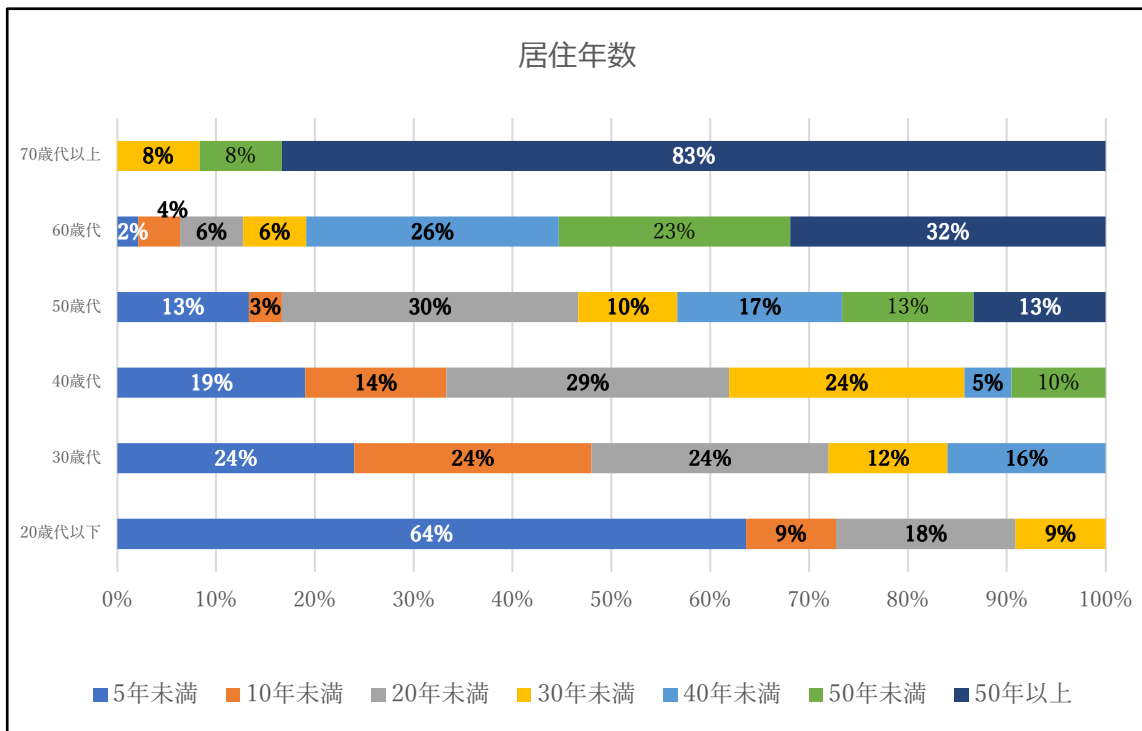
## 【資料 2】 住民意識調査結果

### 【アンケートの概要】

- 目的：誰もが暮らしやすい地域づくりを目指すために不可欠となる住民による自助・共助の取り組みに焦点をあて、少子高齢化に悩む本村において、住民同士の関係づくりや活動を支えていくために、行政や社会福祉協議会としてどのような施策が必要となるかを考える基礎資料をつくる事を目的に実施。
- 対象者：村内に住所を有する満 18 歳以上 80 歳未満の者で地区別・年代別により抽出した 200 名とした。
- 回収状況：対象者 200 名に対し 185 名の回答

※アンケート回収件数 185 件のうち、未回答分を除き年代別の割合をグラフ化

### ■ 居住年数



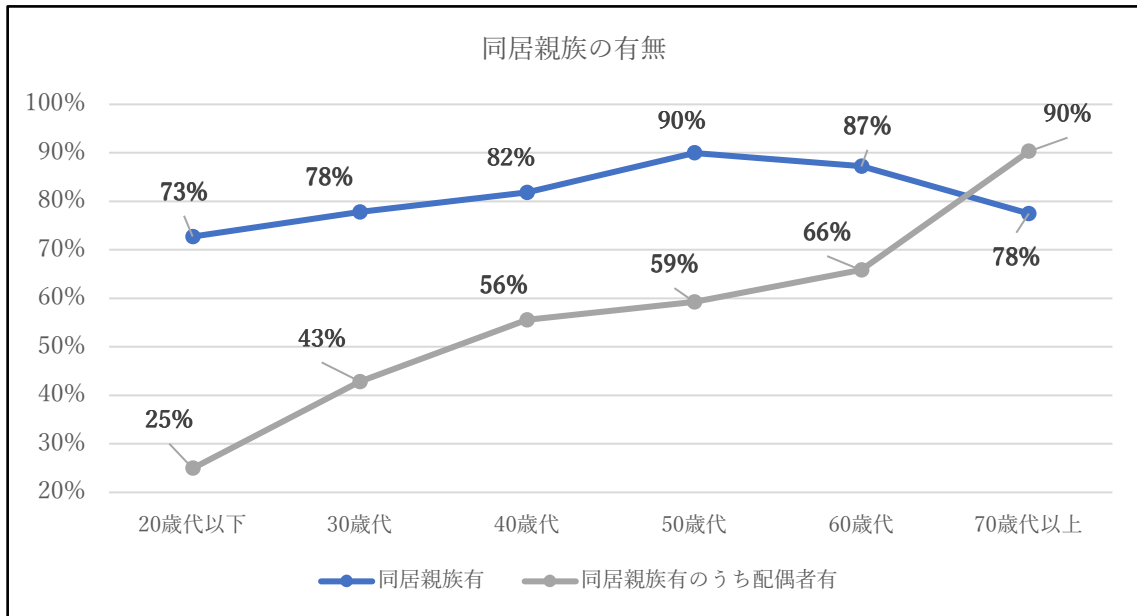
居住年数については、年代が上がるにつれて居住年数が長い傾向がみられ、定住率の高さが伺える。

また、20歳代以下では5年未満との回答が64%となっており、移住割合も高い傾向にある。

さらに、40歳代と50歳代の居住年数を見ると10年未満（5年未満も含む）の割合が40歳代で33%、50歳代では16%となっており、UIターンも多いことも読み取れる。



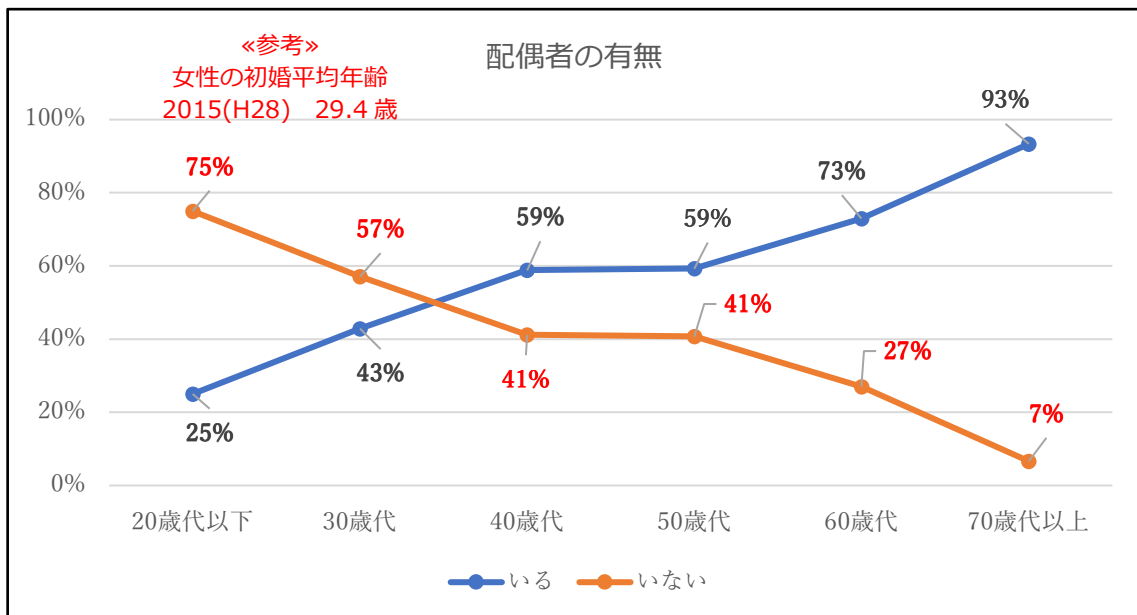
## ■同居親族の有無



同居親族の状況を見ると、『同居親族がいる』と回答した割合が全ての年代で7割を超えている状況であり、同居率の高さが特徴的である。

また、『同居親族がいる』と回答した方のうち『配偶者あり』と回答した割合をみると、年代が上がるにつれ割合が高くなる傾向にあるが、20歳代以下では25%にとどまっている。

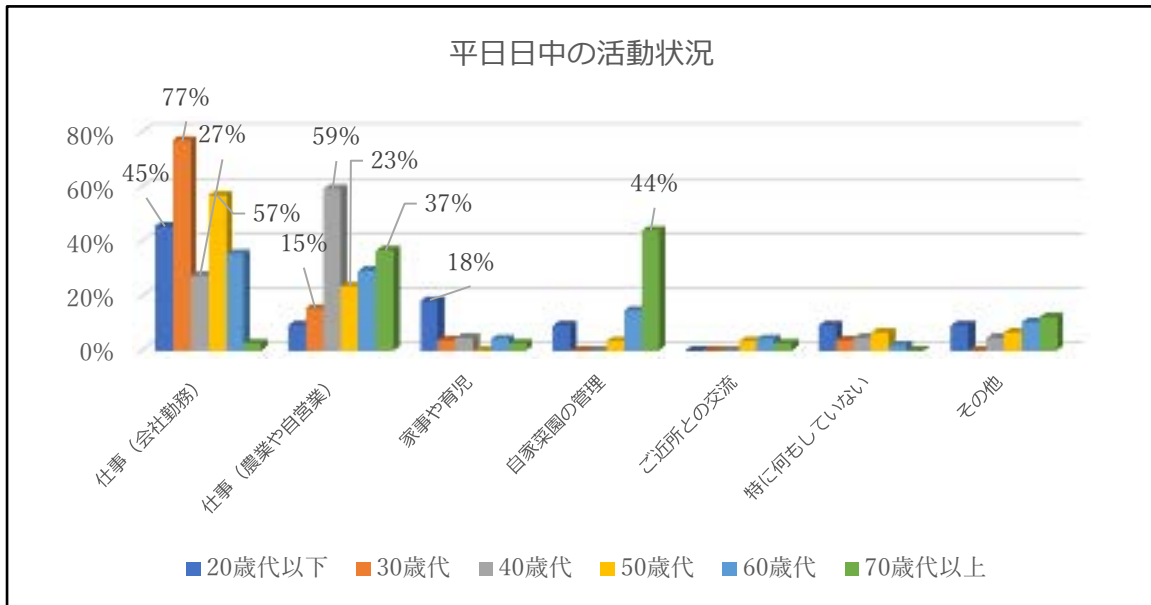
## ■配偶者の有無



配偶者の有無については、30代半ばでグラフ線が交差し、40歳代からは配偶者がいる割合が高くなっている。

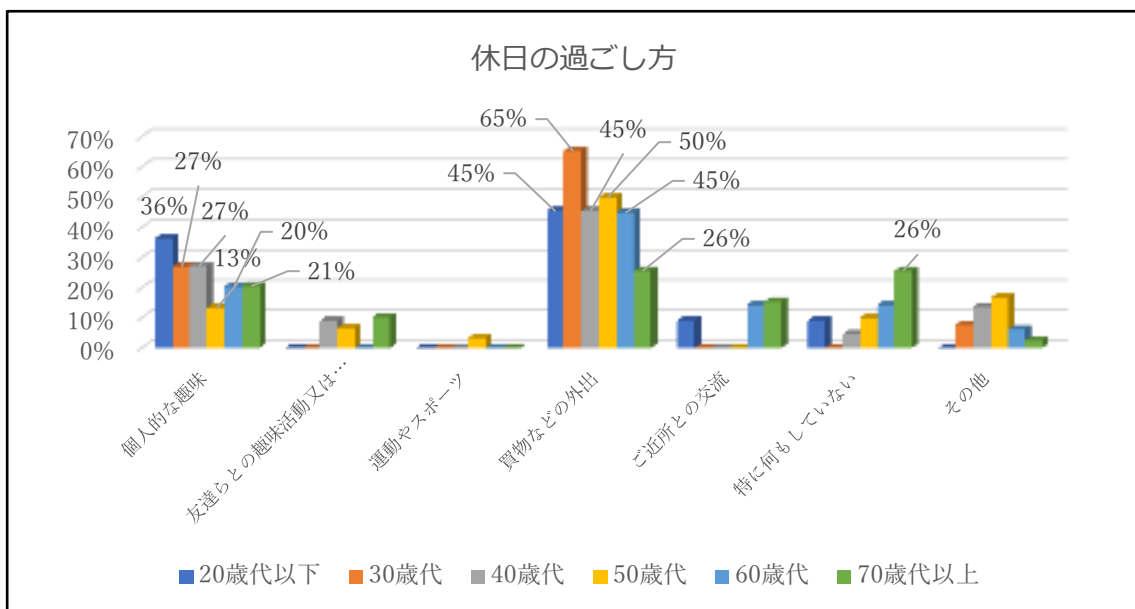
しかし、40歳代と50歳代で『配偶者がいない』と回答した方の割合が各々41%で60歳代でも27%と比較的高い割合となっている。

## ■ 平日日中の活動状況



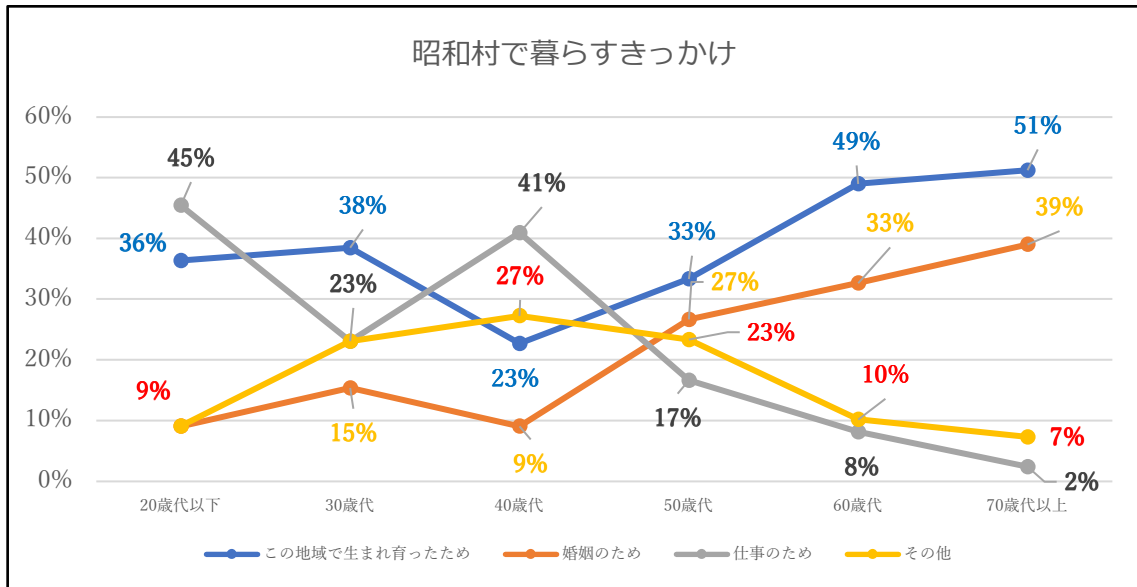
平日日中の活動状況については、『仕事（会社勤務・農業や自営業）』がほとんどの年代で高い割合を占めている。  
 また、70歳以上の年代でも『仕事（農業や自営業）』と回答した割合が37%と高く、更に『自家菜園等の管理』と回答した割合も44%と高い状況で、現役世代として活躍していることがわかる。

## ■ 休日の過ごし方



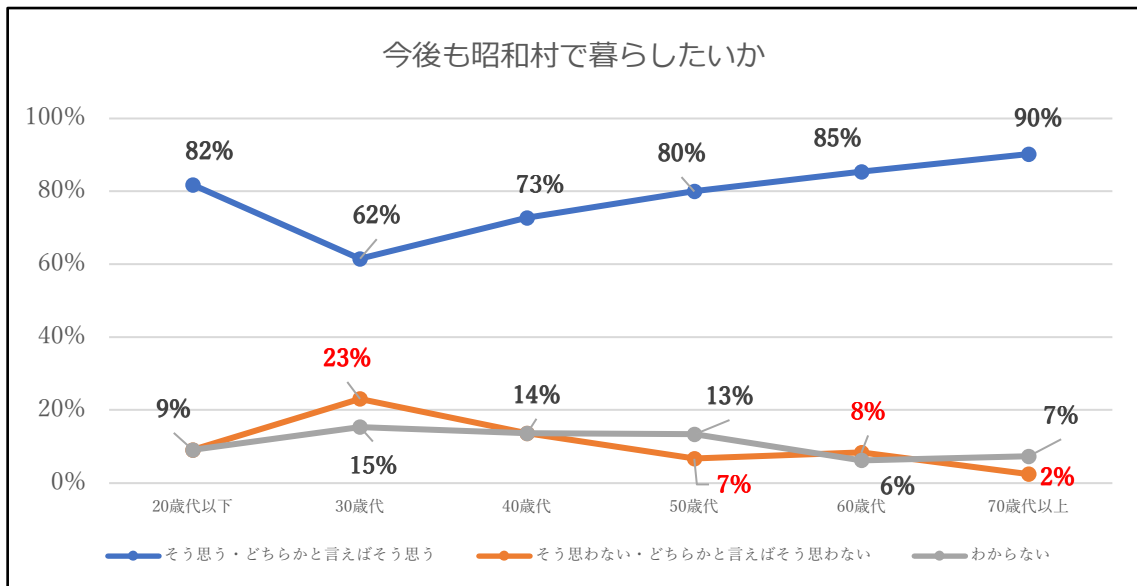
休日の過ごし方については、全ての年代において『買い物などの外出』と回答した割合が最も高くなっている。  
 グラフ全体を通して、世代毎の生活スタイルが読み取れる。

## ■ 昭和村で暮らすきっかけ



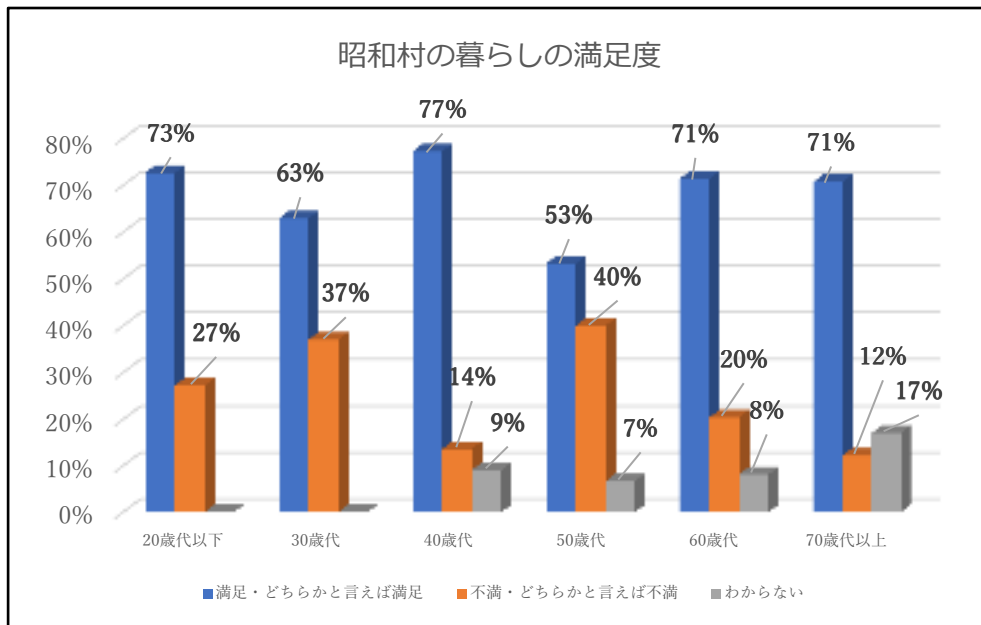
昭和村で暮らすきっかけについては、20歳代以下の年代では『仕事のため』と回答した割合が45%で、次いで『この地域で生まれ育ったため』と回答した割合が36%であった。30歳以上の年代では『この地域で生まれ育ったため』と回答した割合が高い一方、40歳代では『仕事のため』と回答した割合が41%と高い割合を示しており、村外からの移住も多いことがわかる。また、40歳代以下で『婚姻のため』と回答した割合が低くなっている。

## ■ 今後も昭和村で暮らしたいか



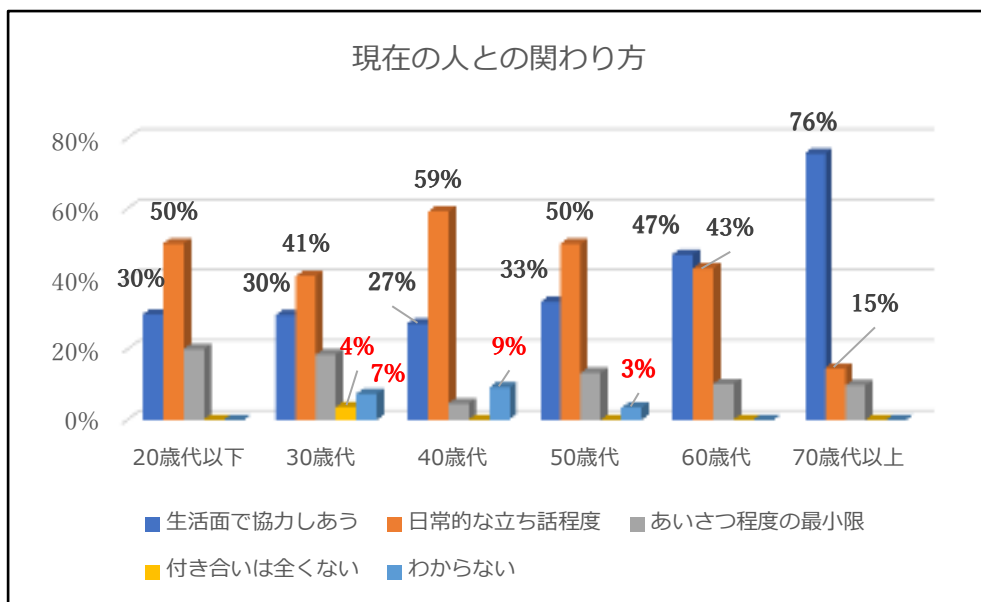
今後も昭和村で暮らしたいかについては、『そう思う・どちらかと言えばそう思う』と回答した割合はどの年代においても高い割合を示しているが、30歳代の回答では『そう思わない・どちらかと言えばそう思わない』と回答した割合が23%と他の年代より高い割合を示している。また、『わからない』と回答した割合も各年代で6%~15%となっている。

## ■ 昭和村の暮らしの満足度



昭和村の暮らしの満足度については、全ての年代で『満足・どちらかと言えば満足』と回答した割合が高い状況であるが、『不満・どちらかと言えば不満』と回答した割合も30歳代で37%・50歳代では40%の回答があった。特徴的な点として20歳以下の満足度が73%と非常に高く、村の暮らしを望んできていることも読み取れる。

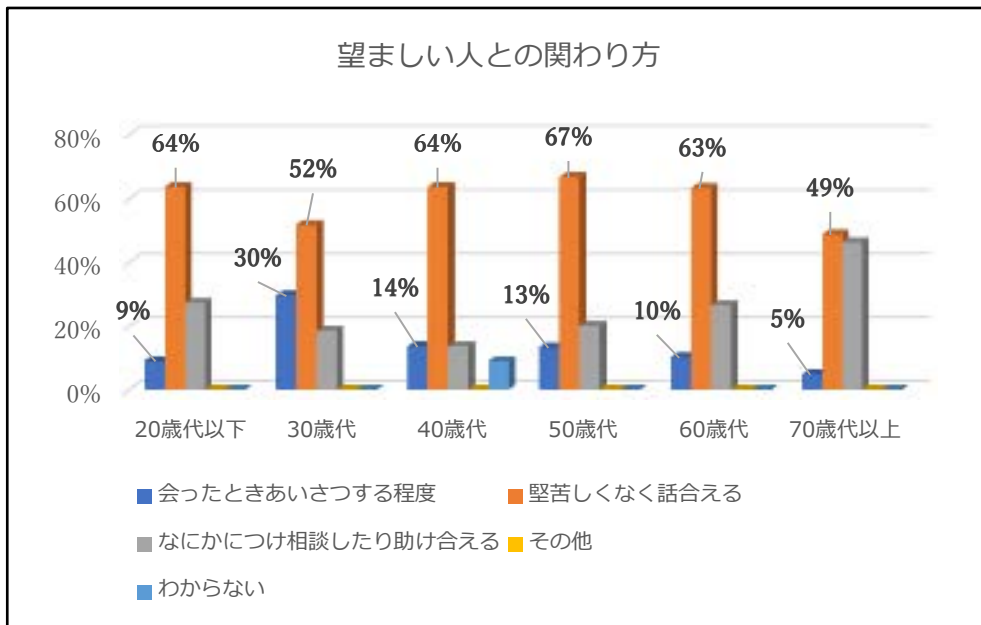
## ■ 現在の人との関わり方



現在の人との関わりについては、20歳代以下から60歳代までの年代で『日常的な立ち話程度』が41%~59%を占めているが、60歳代・70歳代以上からは、『生活面で協力しあう』と回答した割合が非常に高くなっている。

また、20歳代以下の関わりの方の多さも特徴的であるが、30歳代の『付き合いは全くない』や30歳代から50歳代の『わからない』との回答も注目しなければならない点と考えている。

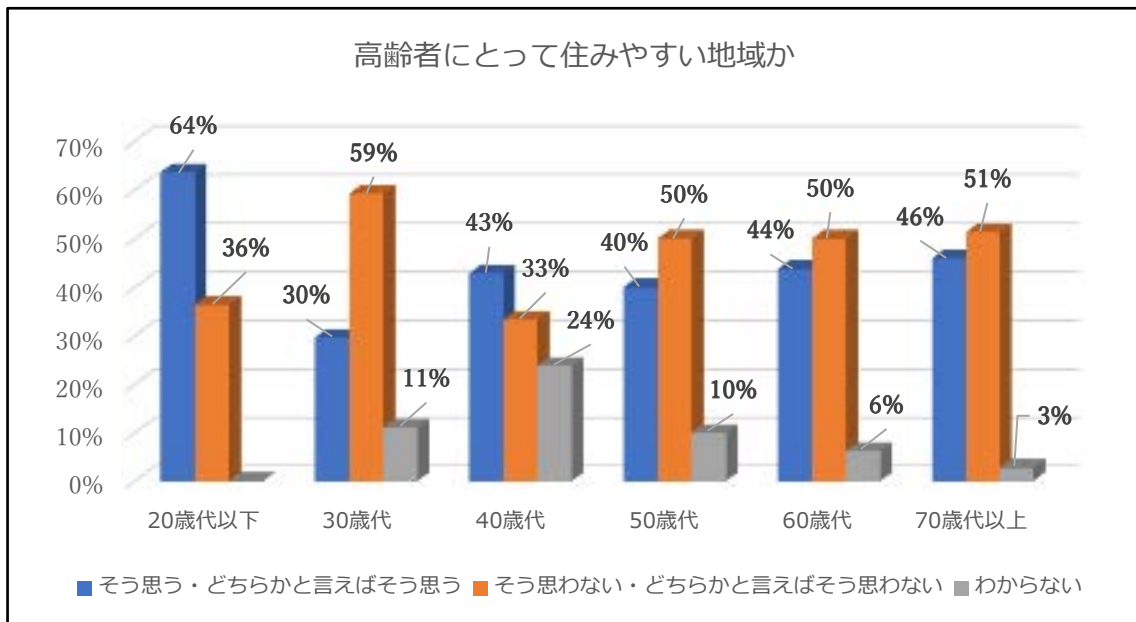
## ■ 望ましい人との関わり方



望ましい人との関わり方については、全ての年代において、『堅苦しくなく話し合える関わり』と回答した割合が高くなっている。

その他、関わり方の必要性については、全ての年代において必要性が高いと認識していることがわかる。

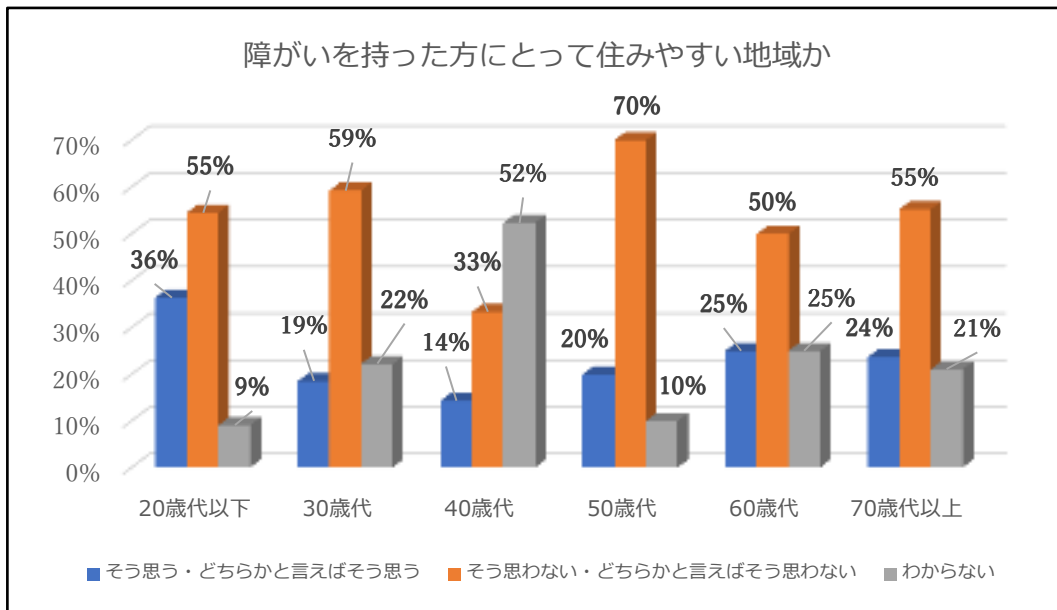
## ■ 高齢者にとって住みやすい地域か



20歳代以下と40歳代では『住みやすい地域』と回答した割合が高くなっているが、その他の年代では『住みやすい地域ではない』という回答が半数を占める結果となっている。

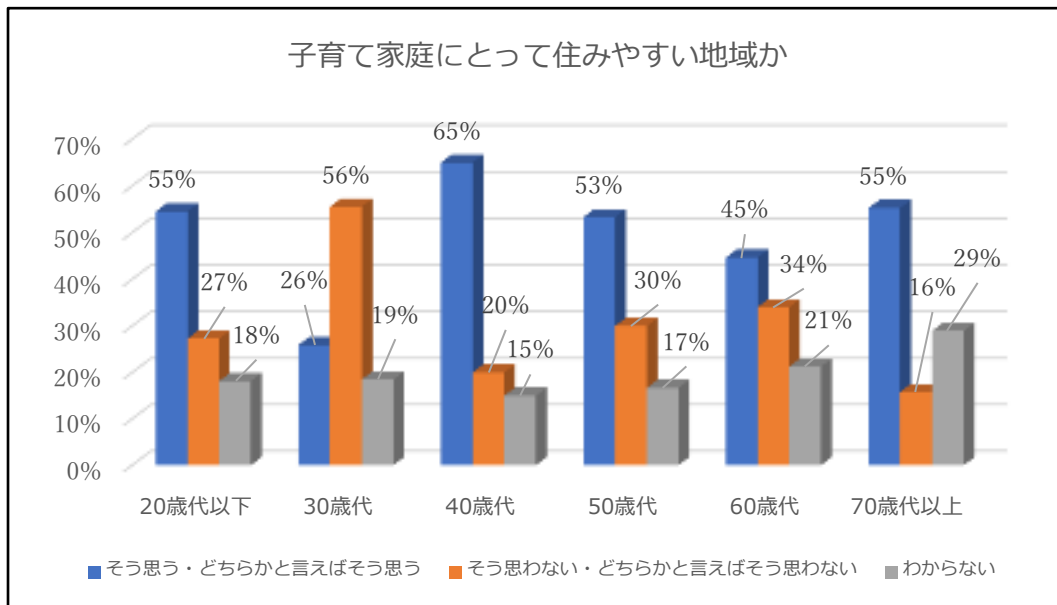
年代や生活環境の違いで捉え方も変わってくるのがわかる。

## ■障がいを持った方にとって住みやすい地域か



殆どの年代で『住みやすい地域ではない』と回答した割合が半数を超えている中、40歳代では『わからない』と回答した結果が52%となっている。  
年代や生活環境の違いで捉え方も大きく変わってくるのがわかる。

## ■子育て家庭にとって住みやすい地域か



殆どの年代で『住みやすい地域』と回答した割合が半数程度を占めているが、30歳代の子育て世代では『住みやすい地域ではない』と回答した割合が半数を超える結果となった。  
年代や生活環境の違いで捉え方も大きく変わってくるのがわかる。

■生活を充実させるために必要だと思われるもの

(豊かな趣味・やりがいのある仕事・経済力・和やかな付き合い・健康な体)

	20歳代 以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代 以上
豊かな趣味	2位	5位	4位	5位	4位	3位
やりがいのある仕事	4位	2位	3位	2位	2位	2位
経済力	4位	3位	2位	3位	2位	5位
和やかな付き合い	2位	4位	4位	4位	4位	3位
健康な体	1位	1位	1位	1位	1位	1位

生活を充実させるために必要だと思われるものについてのアンケート結果では、全ての年代で『健康な体』と回答した割合が一番高かった。  
 特徴的なものが、20歳代以下の4位の『経済力』で意外と優先順位は低い結果となった。  
 また、70歳代以上の2位が『やりがいのある仕事』という回答が多く、現役世代として活躍していることが伺える。30歳代から60歳代では『和やかな付き合い』が4位となっており、『豊かな趣味』についても4位や5位と優先度が低い傾向にあった。

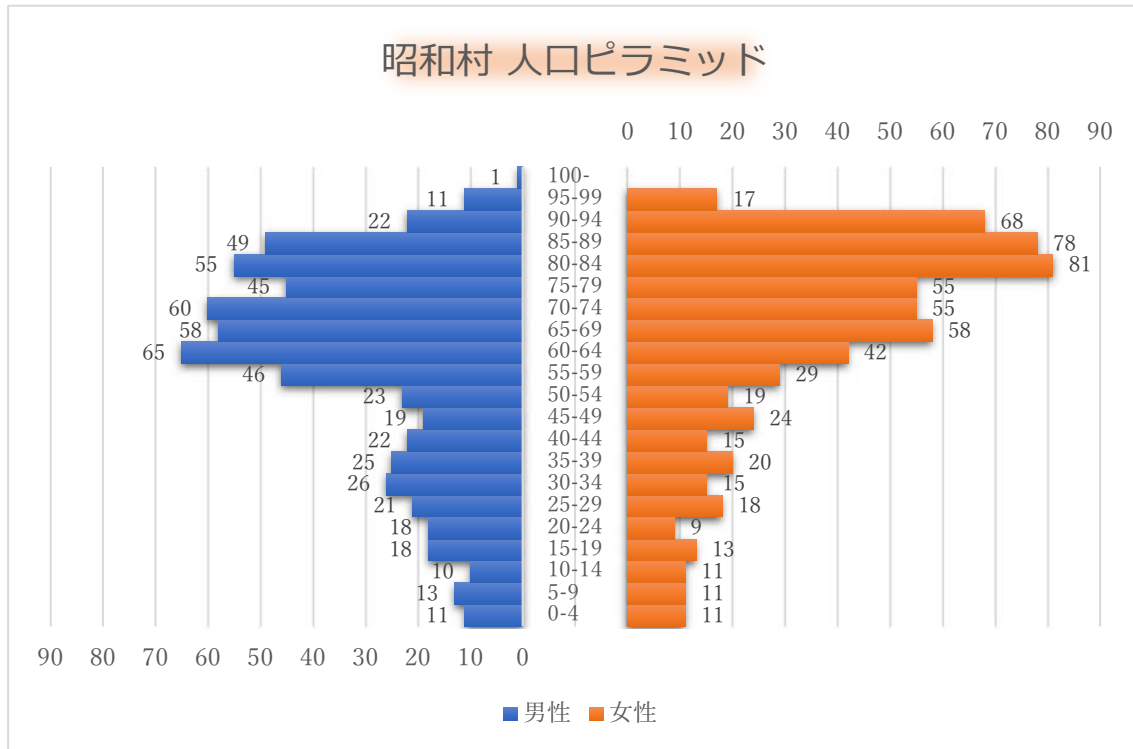
【アンケート自由記載分】

◆課題と思われる事項

- ①交通の問題（買物・通院（村内・村外）） ②情報の伝達
- ③民生児童委員等活動の充実 ④50代・60代の仕事づくり
- ⑤人間関係 ⑥教育や若者への支援

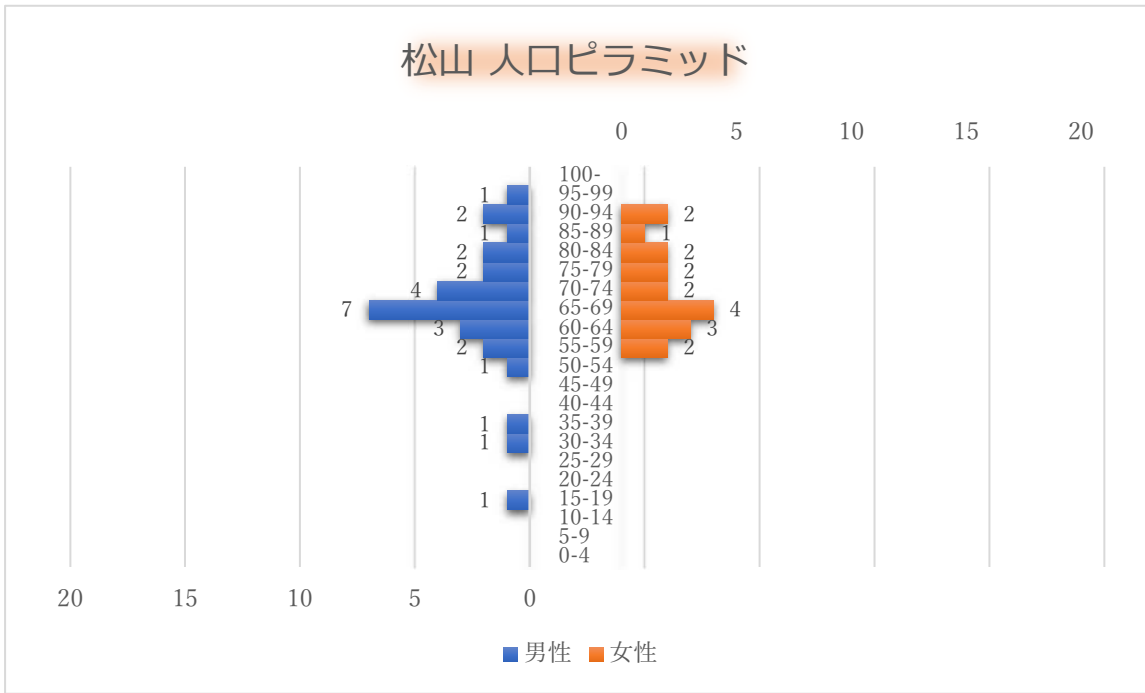
### 【資料3】昭和村人口ピラミッド

\* H31.4.1 現在 昭和村人口ピラミッド

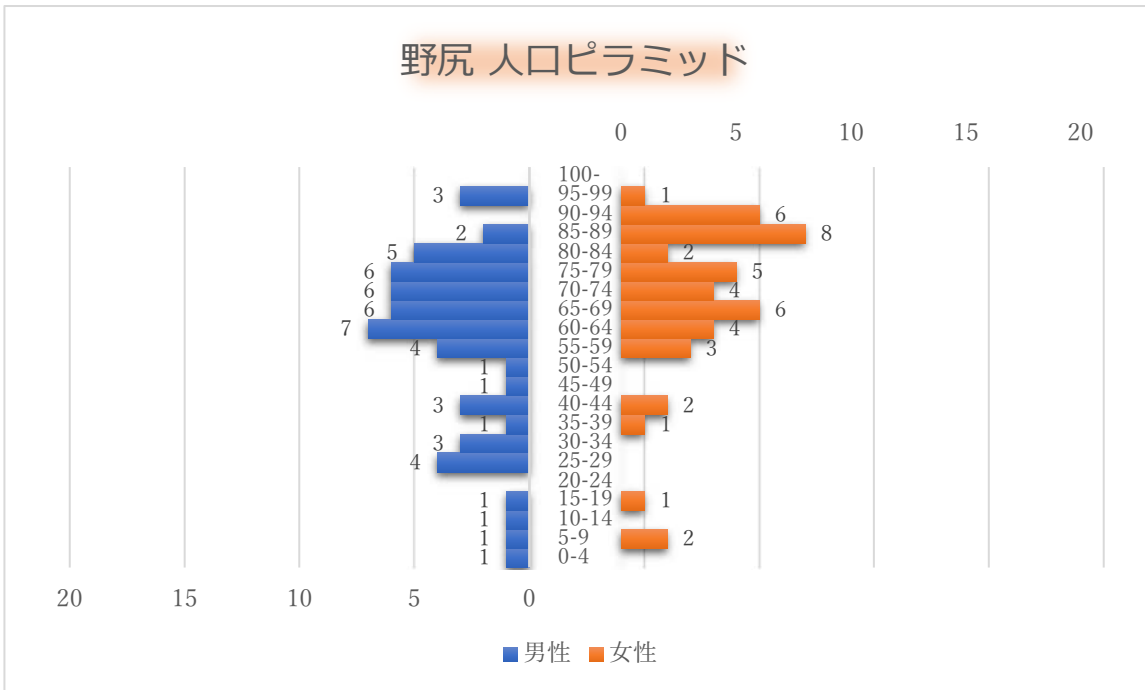




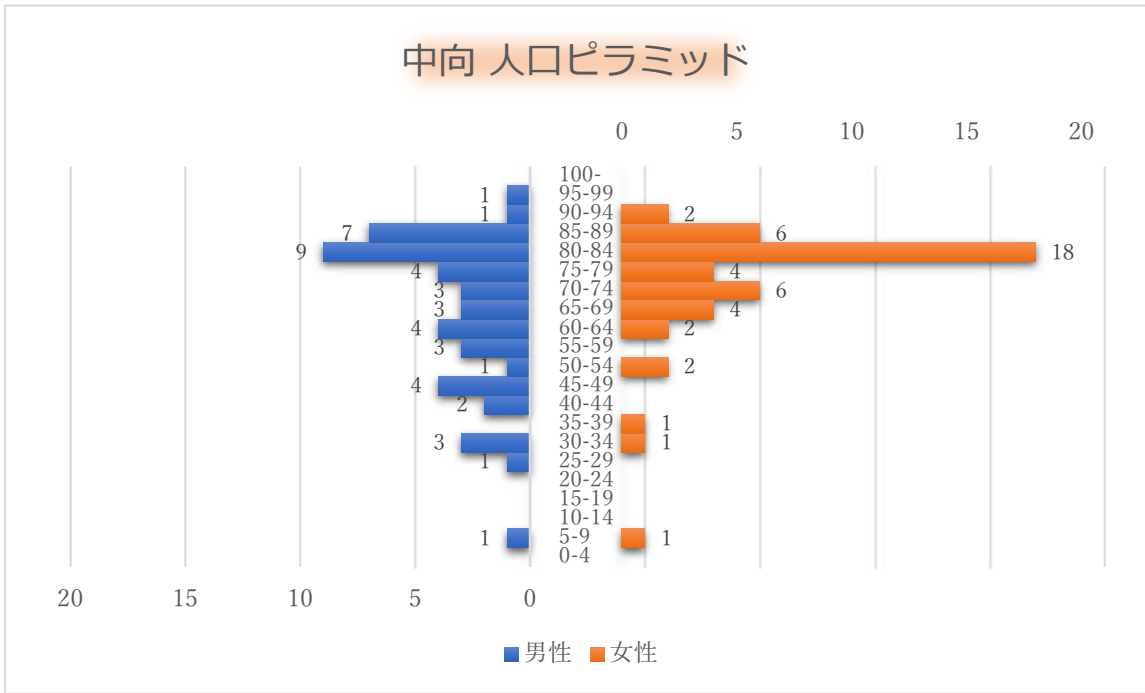
### 松山 人口ピラミッド



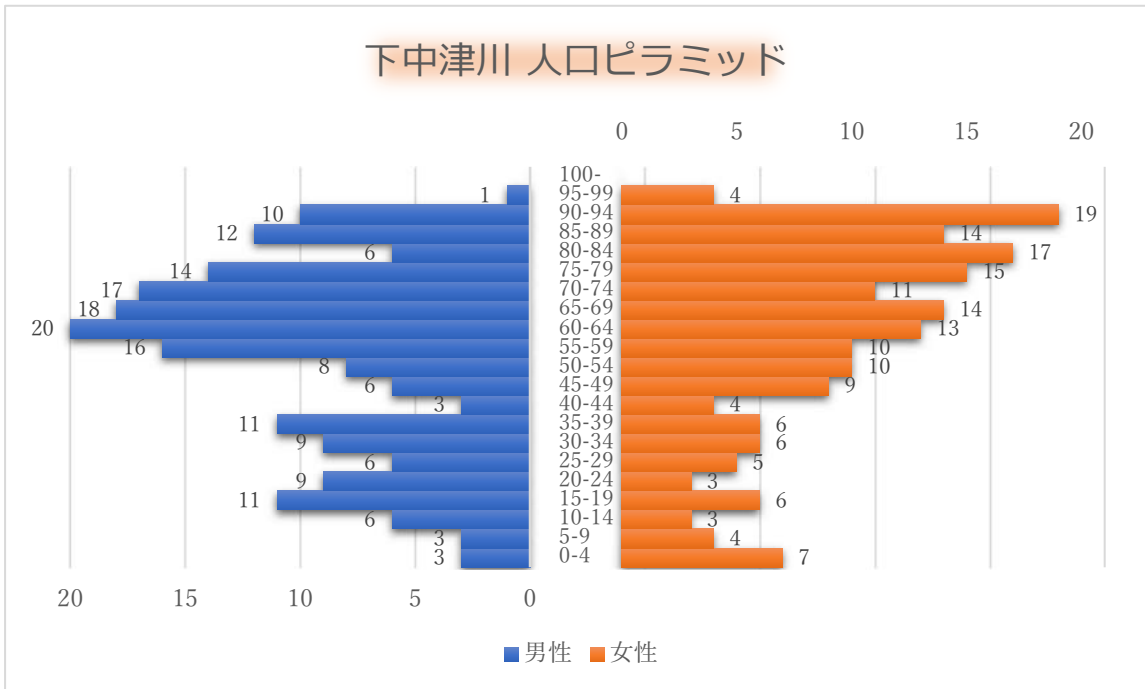
### 野尻 人口ピラミッド



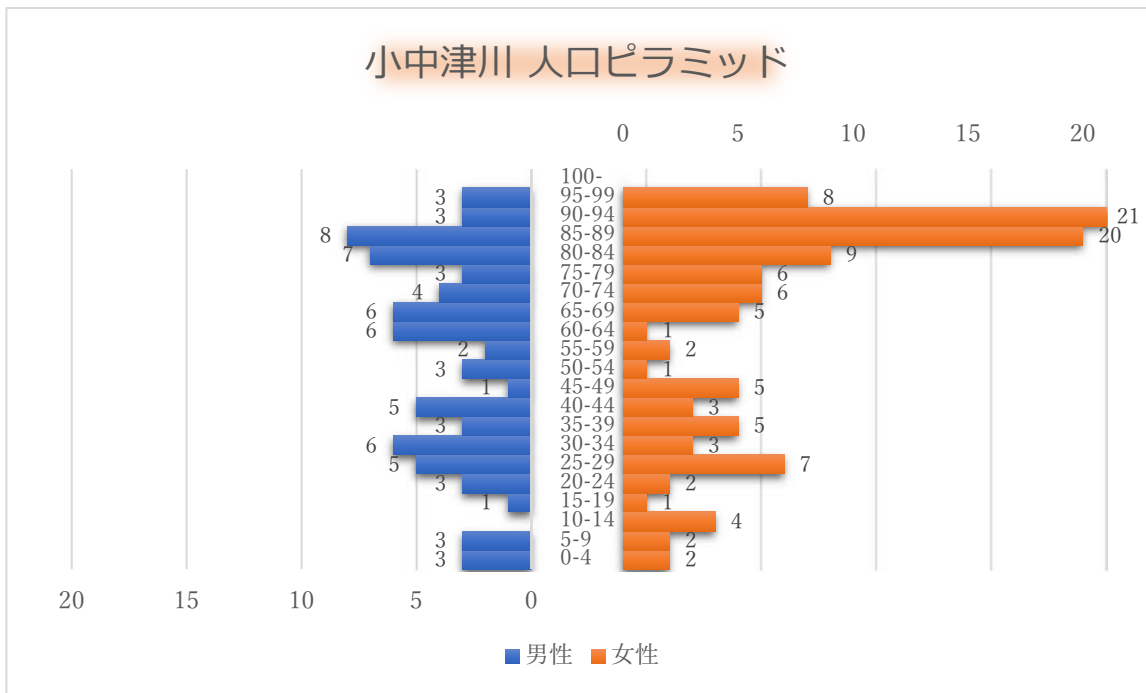
### 中向 人口ピラミッド



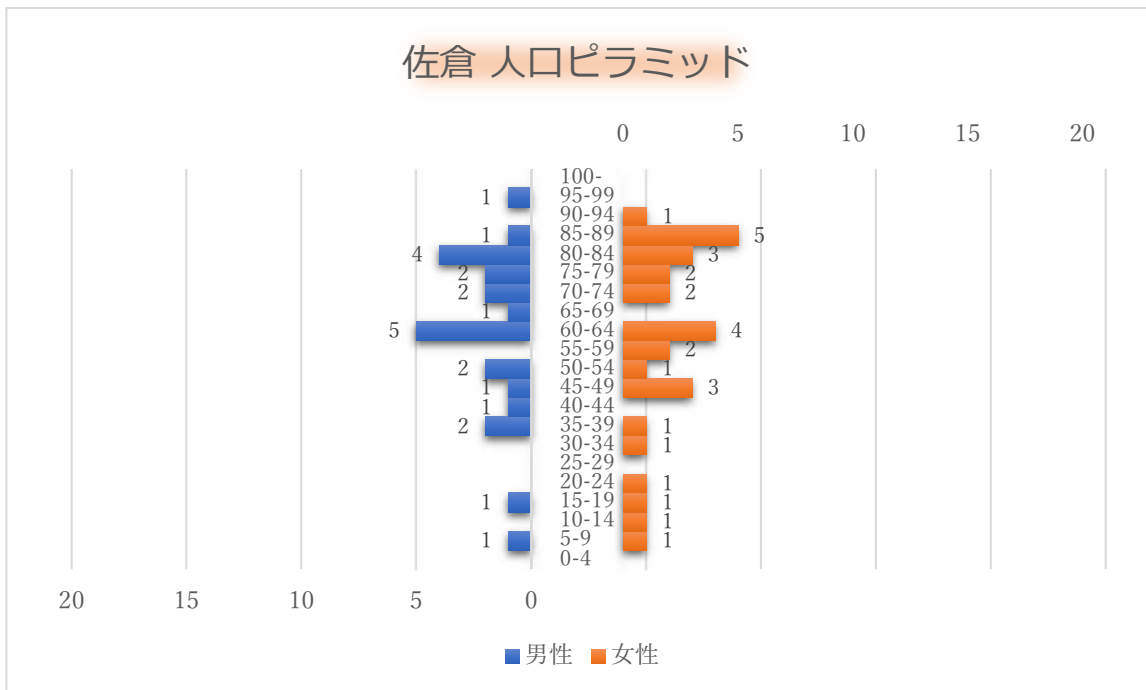
### 下中津川 人口ピラミッド



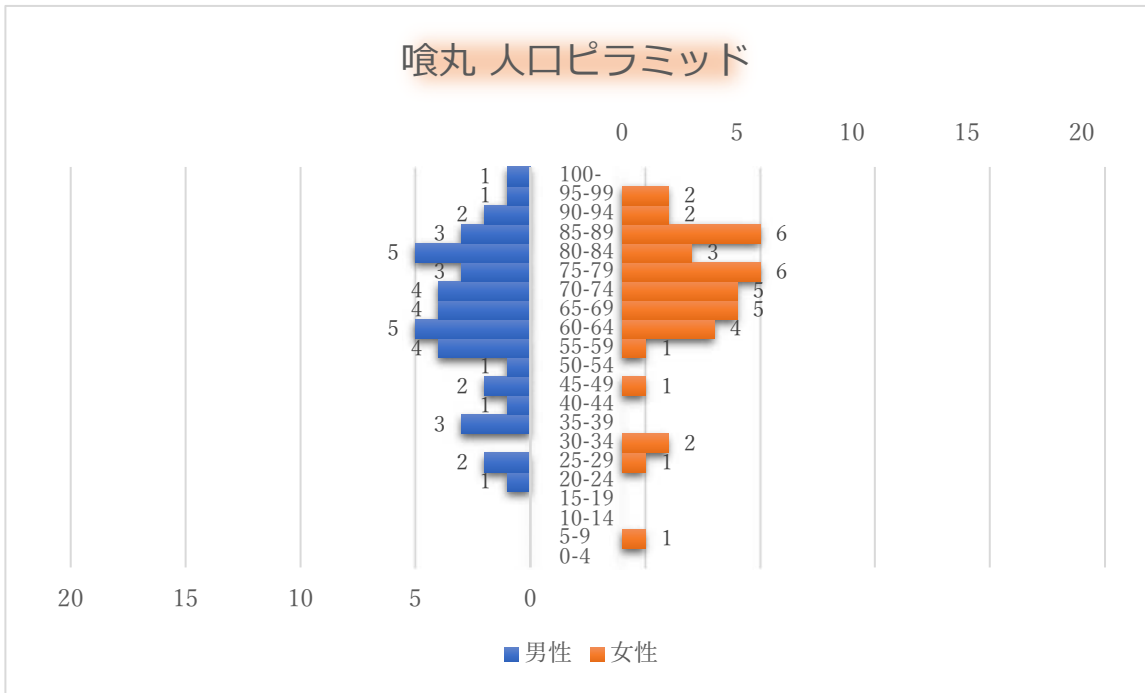
### 小中津川 人口ピラミッド



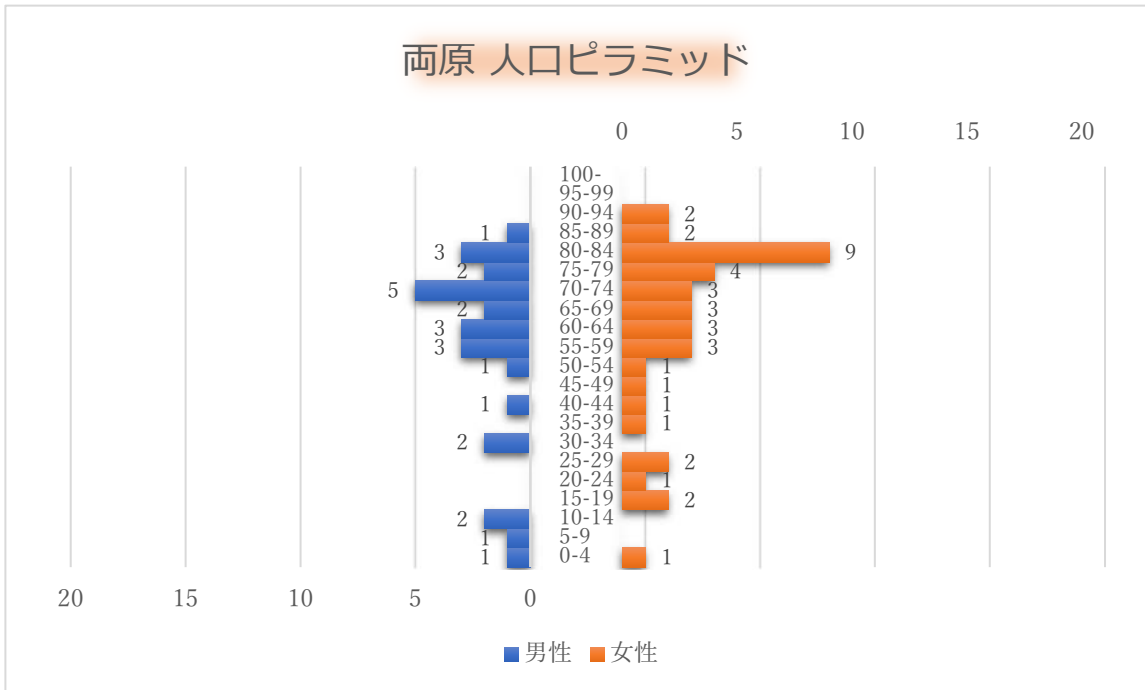
### 佐倉 人口ピラミッド



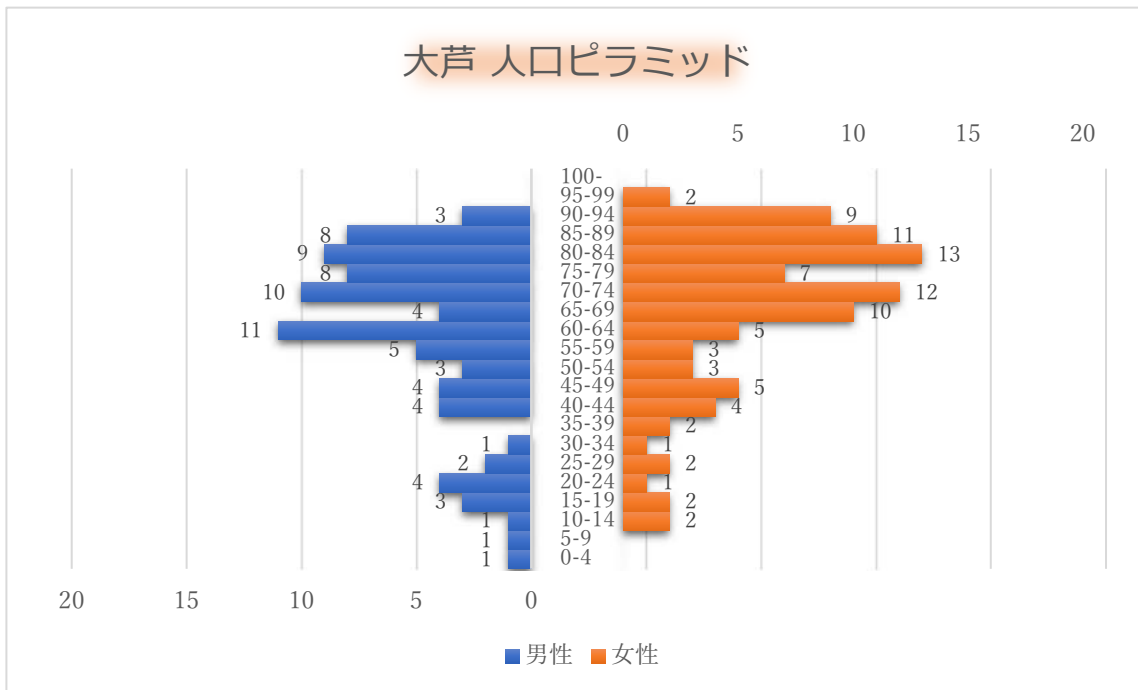
### 喰丸 人口ピラミッド



### 両原 人口ピラミッド



### 大芦 人口ピラミッド



### 小野川 人口ピラミッド

